

んでゐる。今次の米價狀況にも明らかに、この現象があらはれてゐることは前掲表の示すところである。工業ブルジョアジは諸種のカルテル、トラストで自由自在に獨占價格を操つてゐるのである。右の缺狀價格差は工業生産品と農産物との價格の本質的差異であり米價分析にあつたつての根本問題であるが、次に最近の米價低落の直接的原因を探つてみるならば、それは端境期に於ける米の供給過剩にある。即ち、農林省發表、九月一日現在内地米穀在庫は（單位千石、△印減）

	内地米	朝鮮米	臺灣米	外國米	計
昭和八年	一五九八九	五五〇	五四二	四三	一七一三五
・七年	一四二四一	六四一	一七七	八五	一五一四六
比較増減	一七四八	△四〇	三六四	△四三	一九七九

であるが、端境期に於ける需給狀態を見るに

○供給

九月一日現在在米高	一七一二六
鮮米移入見込高	八〇〇
灣米・・・・	一六〇
合計	一八九三六

○需要

消費 八五三八

（向後二ヶ月間の一人當り消費量を一斗二升八合と見て、之に八年四月末日現在全日推定人口六千六百七十萬七千人を乗じたるもの

繰移出見込高	四五
合計	八五八三

差引持越高は一千三十五萬三千石の過剩となる。